

「第1回 新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」
(2020年5月実施)

【スクリーニング調査】

QS1 あなたの性別はどちらですか。

(回答は1つ)

1. 男性
2. 女性

QS2 あなたの現在の年齢は何歳ですか。

(回答は半角数字で入力)

満 歳

QS3 あなたは **本年(2020)4月1日時点** で、次の3つの要件 **すべて** に該当していましたか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 国内に在住していた
- (2) 20歳以上64歳以下だった
- (3) 民間企業(公務等以外)で働く会社員(正社員(役員を除く)、パート
タイマー、アルバイト、契約社員、派遣労働者、嘱託)または自営業主(内職を含む、
農林漁業を除く)だった

===== 選択肢 =====

1. はい
2. いいえ ⇒いずれか「いいえ」で調査終了

QS4 あなたが現在居住されている地域をお答えください。

(回答は1つ)

プルダウンメニューで47都道府県(番号:1~47) + 海外(番号:48)をリスト表示

⇒海外在住は調査終了

QS5 あなたの就業形態について、**本年3月1日時点** の状況をお答えください。

(回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

QS3 Q(1)~(3)より1つはQS4

QS4より1~47はQS5

- 1.正社員（役員を除く）
- 2.パートタイマー
- 3.アルバイト
- 4.契約社員
- 5.派遣労働者
- 6.嘱託
- 7.自営業（※）・内職
- 8.家業の手伝い
- 9.その他の仕事 具体的に：
- 10.働いておらず、求職活動をしていた
- 11.働いておらず、求職活動もしていなかった

QS5_1 あなたの就業形態について、本年4月1日時点の状況をお答えください。

（回答は1つ）

（※）「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

- 1.正社員（役員を除く）
- 2.パートタイマー
- 3.アルバイト
- 4.契約社員
- 5.派遣労働者
- 6.嘱託
- 7.自営業（※）・内職

※これ以降
1～6と回答した者を〈雇用者〉
7を〈自営業等〉という。

QS5_2 あなたの、本年4月1日時点の雇用契約期間についてお答えください。

（回答は1つ）

※契約を更新している場合は、通算期間ではなく、本年4月1日時点の雇用契約についてお答えください。

- 1.期間の定めはない（定年までの雇用を含む）
- 2.1ヵ月未満
- 3.1ヵ月以上6ヵ月以下
- 4.6ヵ月超1年以下
- 5.1年超3年以下
- 6.3年超5年以下

- 7.5年超
- 8.わからない

QS5_1の〈自営業等〉はQS5_3

QS5_3 **本年4月1日時点**で、あなたはご自身の店舗をかまえて、商品やサービスの販売、飲食の提供などを行う「店主・経営者」でしたか。また、あなたが雇用主となって、従業員を使用していましたか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 店主・経営者でしたか
- (2) 従業員を使用していましたか

===== 選択肢 =====

- 1.はい ⇒いずれか「はい」で調査終了
- 2.いいえ

※これ以降 QS5_3 の(1)～(2)でともに2を〈フリーランス〉という。

QS5_4 **本年4月1日時点**の、あなたの勤め先の主な業種をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は **派遣先の会社等** についてお答えください。その他の方は、雇われて働いている会社等についてお答えください。

QS5_1の〈雇業者〉はQS5_4

- 1.建設業
- 2.製造業
- 3.電気・ガス・熱供給・水道業
- 4.情報通信業
- 5.運輸業
- 6.卸売・小売業
- 7.金融・保険業
- 8.不動産業
- 9.飲食店、宿泊業
- 10.医療、福祉
- 11.教育、学習支援業
- 12.郵便局・協同組合
- 13.サービス業
- 14.その他の業種
- 15.わからない

QS5_5 **本年4月1日時点**の、あなたの仕事（事業活動）の主な業種をお答えください。
(回答は1つ)

QS5_3 や 〈フリーランス〉 は QS5_5

- 1.建設業
- 2.製造業
- 3.電気・ガス・熱供給・水道業
- 4.情報通信業
- 5.運輸業
- 6.卸売・小売業
- 7.金融・保険業
- 8.不動産業
- 9.飲食店、宿泊業
- 10.医療、福祉
- 11.教育、学習支援業
- 12.郵便局・協同組合
- 13.サービス業
- 14.その他の業種
- 15.わからない

QS5_6 **本年4月1日時点**の勤め先で、あなたが従事していた主な職種をお答えください。
(回答は1つ)

QS5_1 や 〈雇う者〉 は QS5_6

- 1.管理職（課長クラス以上）
- 2.専門・技術職
- 3.事務職
- 4.営業・販売職
- 5.サービス職
- 6.保安・警備職
- 7.生産技能職
- 8.輸送・機械運転職
- 9.建設作業・採掘職
- 10.運搬・清掃・包装作業
- 11.その他 具体的に：
- 12.わからない

《職種分類の例》

管理職	例：課長、部長、支店長、工場長など
専門・技術職	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
事務職	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
営業・販売職	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
サービス職	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
保安・警備職	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
生産技能職	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
輸送・機械運転職	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
建設作業・採掘職	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
運搬・清掃・包装作業	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
その他	例：農・林・漁業の作業者、上記の選択肢以外の職種

QS5_7 **本年4月1日時点**の、あなたの仕事（事業活動）の主な職種をお答えください。

（回答は1つ）

1. 専門・技術職
2. 事務職
3. 営業・販売職
4. サービス職
5. 保安・警備職
6. 生産技能職

QS5_3 や 〈フューランス〉 は QS5_7

- 7.輸送・機械運転職
- 8.建設作業・採掘職
- 9.運搬・清掃・包装作業
- 10.その他 具体的に：
- 11.わからない

《職種分類の例》

専門・技術職	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
事務職	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
営業・販売職	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
サービス職	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
保安・警備職	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
生産技能職	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
輸送・機械運転職	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
建設作業・採掘職	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
運搬・清掃・包装作業	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
その他	例：農・林・漁業の作業者、上記の選択肢以外の職種

QS5_8 あなたの 本年4月1日時点 の勤め先の企業全体の従業員規模をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は 派遣先の会社等 についてお答えください。その他の方は、雇われて働いている会社等についてお答えください。

QS5_1の「雇用者」はQS5_8

- 1.9人以下
- 2.10～29人
- 3.30～99人
- 4.100～299人
- 5.300～499人
- 6.500～999人
- 7.1,000～2,999人
- 8.3,000人以上
- 9.わからない

QS5_3 や 〈フリーランス〉 は QS5_9

QS5_9 あなたの 本年4月1日時点 の仕事の主な取引先の、企業全体の従業員規模をお答えください。※主な取引先=売上高に占める割合がもっとも大きい取引先
(回答は1つ)

- 1.9人以下
- 2.10～29人
- 3.30～99人
- 4.100～299人
- 5.300～499人
- 6.500～999人
- 7.1,000～2,999人
- 8.3,000人以上
- 9.わからない

QS4 や 1～47 は QS5_10

QS5_10 あなたの就業形態について、現在 の状況をお答えください。
(回答は1つ)
(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

- 1.正社員 (役員を除く)
- 2.パートタイマー
- 3.アルバイト
- 4.契約社員
- 5.派遣労働者
- 6.嘱託
- 7.自営業 (※)・内職

8.家業の手伝い

9.その他の仕事 具体的に：

10.働いておらず、求職活動をしている

11.働いておらず、求職活動もしていない

QS6 **本年4月1日時点** に比べ、現在、働いている会社（事業所・工場・店舗）や、行っている仕事（業務の内容）に変化はありますか。

（回答は1つ）

1.変化はない（同じ会社で、同じような仕事をしている）

2.同じ会社だが、4月1日時点とは別の仕事をしている

3.4月1日時点で働いていた会社をやめ、現在は別の会社で、前と同じような仕事をしている

4.4月1日時点で働いていた会社をやめ、現在は別の会社で、前とは別の仕事をしている

QS7 現在、あなたはご自身の店舗をかまえて、商品やサービスの販売、飲食の提供などを行う「店主・経営者」ですか。また、あなたが雇用主となって、従業員を使用していますか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

（1）店主・経営者ですか

（2）従業員を使用していますか

===== 選択肢 =====

1.はい

2.いいえ

QS5_10 p.1~6 # QS6

QS5_10 p.7 # QS7

【本調査】

Q1 新型コロナウイルス感染症に関連して、あなた自身について、雇用や収入に関わる影響がありましたか。
(回答は1つ)

- 1.大いに影響があった
- 2.ある程度影響があった
- 3.あまり影響はなかった
- 4.全く影響はなかった
- 5.わからない

Q1_1 新型コロナウイルス感染症に関連して、あなたの仕事（事業活動）や収入に関わる影響がありましたか。
(回答は1つ)

- 1.大いに影響があった
- 2.ある程度影響があった
- 3.あまり影響はなかった
- 4.全く影響はなかった
- 5.わからない

Q2 Q1で「大いに影響があった」「ある程度影響があった」とお答えの方におたずねします。
新型コロナウイルス感染症に関連した、あなた自身への具体的な影響について、当てはまるものを **すべて** 選んでください。
(回答はいくつでも)

- 1.会社からの解雇
- 2.期間満了に伴う雇い止め
- 3.勤め先の休廃業・倒産に伴う失業
- 4.雇用・就業形態の変更
- 5.業務内容の変更
- 6.勤務日数や労働時間の減少
- 7.勤務日数や労働時間の増加
- 8.収入の減少
- 9.収入の増加

Q5_1の「雇用者」はQ1

Q5_3の「フリーランス」はQ1_1

Q5_1の「雇用者」かつQ1の1,2はQ2

10.自発的な退職

11. (上記に) あてはまるものはない 具体的に：

12.答えたくない

Q5_1の〈雇⽤者〉はQ3

Q3 あなたが仕事をしている時間（実際に働いている時間）についてお聞きします。あなたの 1週間あたり のおおよその実労働時間（含む残業）は、次の3つの時点でどうなっていましたか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナウイルス問題が発生する前の 通常月 の 週あたり 実労働時間
- (2) 4月の第2週（4月6日～12日）（全国緊急事態措置前）の 週あたり 実労働時間
- (3) 5月の第2週（5月7日～13日）（全国緊急事態措置後）の 週あたり 実労働時間

=====選択肢=====

- 1.15 時間未満
- 2.15 時間以上、20 時間未満
- 3.20 時間以上、25 時間未満
- 4.25 時間以上、30 時間未満
- 5.30 時間以上、35 時間未満
- 6.35 時間以上、40 時間未満
- 7.40 時間以上、45 時間未満
- 8.45 時間以上、50 時間未満
- 9.50 時間以上、55 時間未満
- 10.55 時間以上、60 時間未満
- 11.60 時間以上
- 12.働いていない

Q5_1の〈雇⽤者〉はQ4

Q4 あなたの税込みの月収は、次の3つの時点でどうなっていましたか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナウイルス問題が発生する前の 通常月 の月収
- (2) 3月に働いた分 の月収
- (3) 4月に働いた分 の月収

=====選択肢=====

- 1.5 万円未満
- 2.5 万円以上、10 万円未満

- 3.10万円以上、15万円未満
- 4.15万円以上、20万円未満
- 5.20万円以上、25万円未満
- 6.25万円以上、30万円未満
- 7.30万円以上、35万円未満
- 8.35万円以上、40万円未満
- 9.40万円以上、45万円未満
- 10.45万円以上、50万円未満
- 11.50万円以上
- 12.月収なし
- 13.答えたくない

Q4_1 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の、もともと（通常月）の月収と比較して、あなたの直近の月収はどうなりましたか。

（回答は1つ）

【減少した】

- 1.1～2割
- 2.3～4割
- 3.5～6割
- 4.7～8割
- 5.9割以上

【増加した】

- 6.1～2割
- 7.3～4割
- 8.5割以上

9. ほぼ同じ（変動は1割未満）

Q5 政府や自治体の要請に基づき、あるいは自主的に、あなたが勤めている会社（事業所・工場・店舗）は、以下の対応を行いましたか（行っていますか）。

（回答はいくつでも）

- 1.休業（閉鎖、閉店等）や休業日数の拡大
- 2.営業時間の短縮

- 3.一時帰休
- 4.出勤日数の削減（例：交替で週2日勤務等）
- 5.有給休暇の取得促進
- 6.在宅勤務・テレワークの実施
- 7.サテライトオフィスなど勤務場所の変更
- 8.通勤方法の変更（公共交通機関の利用制限等）
- 9.時差出勤
- 10.仕事の削減
- 11.WEB会議、TV会議の活用
- 12.出張の中止・制限
- 13.上記の対応は行っていない

Q5の6はQ5_1

Q5_1 Q5で「在宅勤務・テレワークの実施」を選択された方におたずねします。
 新型コロナウイルス感染症予防の対策として行われた「在宅勤務・テレワーク」について、
 あなたの 1週間あたり の「在宅勤務・テレワーク」の日数は、次の3つの時点でどの程度
 でしたか。
 （それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナウイルス問題が発生する前の 通常月 の 週あたり 在宅勤務日数
- (2) 4月の第2週（4月6日～12日）（全国緊急事態措置前）の 週あたり 在宅勤務日数
- (3) 5月の第2週（5月7日～13日）（全国緊急事態措置後）の 週あたり 在宅勤務日数

===== 選択肢 =====

- 1.1～2日
- 2.3日
- 3.4日
- 4.5日（以上）
- 5.行っていない

Q6 新型コロナウイルス感染症予防の対策として、あなたの職場で取られたことについて、
 次の中から当てはまるものを すべて 選んでください。
 （回答はいくつでも）

- 1.喉や発熱などの症状がある人への適切な対応

Q5_1の〈雇用者〉はQ6

2. イベントや集会、会議、懇親会などの中止・自粛
3. マスク・アルコール消毒用品の使用・配備
4. その他 具体的に：
5. 特に何もなかった

Q7 新型コロナウイルス感染症発生から現在に至るまでの間に、「ご自身の感染」以外に仕事面で、あなたが特に不安に感じたことを **3つまで** 選んでください。

(回答は3つまで)

1. 勤め先の経営状況の悪化あるいは企業倒産・事業所閉鎖
2. 解雇や雇止め（雇用不安）
3. 収入の減少
4. 感染予防や感染者発生時の対応などの会社の衛生管理
5. 「一斉休校」などに伴う休暇や業務調整に対する会社のマネジメント
6. 在宅勤務・テレワークなどの環境整備
7. ご自身の仕事の調整
8. 職場の人間関係の変化
9. その他 具体的に：
10. 不安に感じたことは特にない
11. 答えたくない

Q8 Q1_1で「大いに影響があった」「ある程度影響があった」とお答えの方におたずねします。

新型コロナウイルス感染症に関連した具体的な影響について、当てはまるものを **すべて** 選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 業績への影響（売上高・収入の減少や増加）
2. 既に受注していた仕事（イベントやツアー等含む）の中止や延期
3. 新規受注や顧客の減少、消失
4. 新規受注や顧客の増加、対応負担の増加
5. 取引先の事業の休止・縮小や倒産
6. 物流の停滞・寸断に伴う商品や材料等の調達困難
7. 納品や工期の遅延と対応
8. 事業活動（生産、販売、サービス）の抑制や休止
9. 海外渡航禁止や帰国指示、外出自粛要請に伴う移動困難

- 10.資金繰りの悪化
- 11.取引先の在宅勤務・テレワーク化に伴う対応負担の増加
- 12.「一斉休校」などに伴う仕事との両立・調整
- 13.その他 具体的に：

Q9 新型コロナウイルス感染症の影響（東京オリンピック・パラリンピックの延期含む）で、あなたの仕事（事業活動）の3～5月分の売上高はどうなりましたか。新型コロナウイルス問題が発生する前の通常月の売上高を100とした数値で、お答えください。

（回答は半角数字で入力）

記入例）

- 3月分の売上高が通常月の20%減の場合⇒80と記入
- 4月分の売上高が通常月の20%増の場合⇒120と記入

- (1) 3月分の売上
- (2) 4月分の売上
- (3) 5月分の売上高 見通し

Q10 あなたが仕事をしている時間（実際に働いている時間）についてお聞きします。あなたの1週間あたりのおおよその実労働時間（含む残業）は、次の3つの時点でどうなっていましたか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- 1.新型コロナウイルス問題が発生する前の通常月の週あたり実労働時間
- 2.4月の第2週（4月6日～12日）（全国緊急事態措置前）の週あたり実労働時間
- 3.5月の第2週（5月7日～13日）（全国緊急事態措置後）の週あたり実労働時間

=====選択肢=====

- 1.15 時間未満
- 2.15 時間以上、20 時間未満
- 3.20 時間以上、25 時間未満
- 4.25 時間以上、30 時間未満
- 5.30 時間以上、35 時間未満
- 6.35 時間以上、40 時間未満
- 7.40 時間以上、45 時間未満
- 8.45 時間以上、50 時間未満

Q5-3「パフォーマンス」はQ9

Q5-3「パフォーマンス」はQ10

- 9.50 時間以上、55 時間未満
- 10.55 時間以上、60 時間未満
- 11.60 時間以上
- 12.働いていない

Q11 政府や自治体の要請に基づき、あるいは自主的に、あなたが仕事上、行ったことについて、当てはまるものを すべて 選んでください。

(回答はいくつでも)

- 1.休業（閉鎖、閉店等）や休業日数の拡大
- 2.営業時間の短縮
- 3.在宅勤務・テレワークの実施
- 4.サテライトオフィスなど勤務場所の変更
- 5.時差出勤
- 6.仕事の削減
- 7.取引先との打合せや営業活動等のオンライン化（WEB 会議、TV 会議の活用）
- 8.出張の中止・制限
- 9.喉や発熱などの症状がある場合の仕事（事業活動）の自粛
- 10.イベントや集会、会議、懇親会などへの参加中止・自粛
- 11.マスク・アルコール消毒用品の使用・配備
- 12.その他 具体的に：
- 13.特に何もなかった

Q12 新型コロナウイルス感染症発生から現在に至るまでの間に、「ご自身の感染」以外に仕事面で、あなたが特に不安に感じたことを 3つまで 選んでください。

(回答は3つまで)

- 1.業績への影響（売上高・収入の減少等）
- 2.事業活動の抑制等の長期化（先行き不透明感）
- 3.経営難（資金繰り）あるいは企業倒産・事業所閉鎖
- 4.経営環境の悪化（消費の低迷、訪日客の減少、仕入れ価格の上昇、景気減速等）
- 5.取引先の事業の休止・縮小や倒産
- 6.物流の停滞・寸断（回復の見通し難さ）
- 7.海外渡航禁止や外出自粛の長期化（解除の見通し難さ）
- 8.（接待自粛や納入遅れ等による）取引先との関係悪化や契約切り
- 9.感染予防等の衛生管理

10.「一斉休校」などに伴う仕事との両立・調整

11.その他 具体的に：

12.不安に感じたことは特にない

13.答えたくない

Q13 あなたは仕事（事業活動）上、新型コロナウイルス感染症関連の以下の経営支援策のうち、既に利用を申請したり、今後の利用申請を考えたりしているものはありますか。当てはまるものを **すべて** 選んでください。

（回答はいくつでも）

- 1.持続化給付金（売上が減少している事業主に100万円等）
- 2.都道府県等の休業要請や営業時間短縮に応じた場合の休業協力金
- 3.都道府県等による上記以外の給付金や助成金、融資等
- 4.政策金融公庫のコロナ特別貸付やセーフティネット保証等による資金繰り支援
- 5.雇用調整助成金（従業員の雇用を維持する場合に休業手当等を助成）
- 6.小学校等の臨時休業に伴う対応支援金（業務請負等の仕事が出来なくなった、子を世話する保護者を支援）
- 7.働き方改革推進支援助成金（テレワークの導入等を支援）
- 8.国税、地方税、厚生年金保険料等の支払い猶予
- 9.固定資産税等の減免
- 10.欠損金の繰戻しによる法人税の還付
- 11.公共料金（水道、電気、ガス、電話料金等）の支払い猶予
- 12.家賃支援給付
- 13.その他 具体的に：
- 14.申請を考えているものはない
- 15.現時点では未定・分からない

Q14 新型コロナウイルス感染症発生から現在に至るまでの間に「ご自身やご家族の感染」以外に生活面で、あなたが特に不安に感じたことを **3つまで** 選んでください。

（回答は3つまで）

- 1.感染の収束が見えない
- 2.正しい情報がわからない
- 3.感染予防物資（マスクやアルコール消毒品）の不足
- 4.生活物資の不足
- 5.一斉休校に伴う子どもの預け先

- 6.休校による子どもの学習への影響
- 7.ご自身やご家族の持病などによる通院や入院
- 8.旅行やイベント、冠婚葬祭などの参加や実施
- 9.感染拡大防止に向けた政府の対応
- 10.不況の長期化・深刻化
- 11.収入の減少に伴う生活への支障
- 12.その他 具体的に：
- 13.不安に感じたことは特にない
- 14.答えたくない

Q15 あなたの婚姻状況（事実婚含む）をお答えください。
（回答は1つ）

- 1.既婚（配偶者あり）※事実婚を含む
- 2.既婚（離別・死別）
- 3.未婚

Q16 生計を同一にしている子どもはいますか。
（回答は1つ）

- 1.いる
- 2.いない

Q16_1 Q16で「いる」とお答えの方におたずねします。
生計を同一にしている末子の年齢をお答えください。
（回答は半角数字で入力）

末子は満 歳

Q17 あなたは、親など高齢者の方と同居・近居していますか。

- 1.同居・近居している
- 2.していない

Q18 主としてあなたの世帯の生計を支えているのは、どなたですか。
（回答は1つ）

- 1.あなたご自身
- 2.あなたの配偶者（妻・夫）※事実婚の相手を含む
- 3.あなたの親
- 4.あなたの子ども
- 5.その他 具体的に：

Q19 あなたの **世帯全体（配偶者等の収入を含む）** の昨年1年間（2019年1月1日～12月31日）の年収（税込）をお答えください。
※世帯全体の年収については、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めてください。
（回答は1つ）

- 1.ない
- 2.100万円未満
- 3.100～200万円未満
- 4.200～300万円未満
- 5.300～400万円未満
- 6.400～500万円未満
- 7.500～600万円未満
- 8.600～700万円未満
- 9.700～800万円未満
- 10.800～900万円未満
- 11.900～1,000万円未満
- 12.1,000～1,200万円未満
- 13.1,200～1,500万円未満
- 14.1,500～2,000万円未満
- 15.2,000万円以上
- 16.わからない

Q20 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が苦しくなることにより、国や自治体等の以下の経済的支援のうち、既に申請を行ったり、今後の申請を考えたりしているものがありますか。当てはまるものを **すべて** 選んでください。
（回答はいくつでも）

- 1.特別定額給付金（一人10万円）

- 2.緊急小口資金・総合支援資金（休業者や失業者等に20万円上限等で生活費を特別貸付）
- 3.住宅確保給付金（休業等による収入減少で住居を失う恐れがある場合に家賃相当額を支給）
- 4.傷病手当金（感染で仕事を休んだ場合の所得保障）
- 5.雇用保険の失業手当
- 6.国税、地方税の支払い猶予や、国民年金、国民健康保険等の保険料の減免
- 7.公共料金（水道、電気、ガス、電話料金等）の支払い猶予
- 8.生活保護
- 9.授業料、入学金の免除や減額、給付型奨学金（高等教育修学支援制度）
- 10.その他 具体的に：
- 11.申請を考えているものはない
- 12.現時点では未定・分からない